

# Economic Indicators

発表日: 2024年4月12日(金)

## 主要経済指標予定(2024年4月15日~4月19日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部  
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(4月15日~4月19日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
4月15日 (月)	8:50 2月機械受注統計 船電除く民需 (前月比) (前年比)	+0.5% ▲7.1%	+0.7% —	▲1.5%~+2.5% —	▲1.7% ▲10.9%
	13:30 2月商業動態統計・確報 小売業販売額 (前年比)	—	—	—	+4.6%
4月16日 (火)					
4月17日 (水)	8:50 3月貿易統計 輸出金額 (前年比) 輸入金額 (前年比) 貿易収支 (原数値、億円)	+7.0% ▲4.0% +2,497	+7.0% ▲5.0% +3,577	+1.8%~+10.4% ▲9.7%~▲0.4% +1,000~+4,816	+7.8% +0.5% ▲3,778
4月18日 (木)	13:30 2月第3次産業活動指数 (前月比)	+1.3%	—	—	+0.3%
4月19日 (金)	8:30 3月消費者物価指数 (全国) 全国総合 (前年比) 全国コア (前年比)	+2.8% +2.7%	+2.8% +2.6%	+2.6%~+2.9% +2.6%~+2.7%	+2.8% +2.8%
	8:50 4月主要銀行貸出アンケート調査				

(注) 市場予測・レンジは Bloomberg、日経 QUICK 調査をベースに作成



**2月機械受注・船舶電力除く民需** 当社予想：前月比+0.5% 中央値：同+0.7%

2月の機械受注（船舶電力除く民需）は前月比+0.5%の小幅の増加を予想する。前月に急減した製造業は、一部自動車工場停止の影響を受け、国内の不透明感の高まりを背景に今月も小幅の反発に留まるだろう。先行きも能力増強・維持更新を目的とした機械投資は輸出減速や企業業績鈍化の影響を受けやすいことから、機械受注が上向くには時間がかかるとみる。

（副主任エコノミスト：大柴 千智）

**3月貿易統計・貿易収支額（原数値）** 当社予想：+2,497億円 中央値：+3,577億円

3月の貿易収支を▲6,008億の赤字（季節調整値）と予想する。春節要因の剥落で中国向けの反動増が予想されることから、物価変動を除いた実質輸出は3か月ぶりのプラスとなるだろう。もっとも、1、2月の減少を取り戻すには至らず、1-3月期の実質輸出は前期比マイナスとなる公算が大きい。先行きも、自動車生産の正常化には時間を要するものとみられるほか、世界経済の減速によって輸出は回復感に欠ける動きが続くと見込まれる。

（副主任エコノミスト：大柴 千智）

**3月全国消費者物価指数（生鮮食品除く総合）** 当社予想：前年比+2.7% 中央値：同+2.6%

CPIコアは前年比+2.7%と、2月の+2.8%から上昇率がやや鈍化すると予想する。電気・ガス代のマイナス寄与が縮小する一方で、前年の伸びが高いことの影響で食料品が鈍化するだろう。加えて、エネルギーや食料を除いた部分でも緩やかな鈍化が予想される。

（シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴）

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

